

令和5年群馬県農業産出額

農政部 令和7年3月

群馬県における令和5年の農業産出額は、2,655億円と前年に比べて7.4%（182億円）増加となりました。増加理由は、野菜や鶏卵の単価上昇によるものです。また、都道府県別の順位は12位です。

部門	区分	産出額 (億円)	対前年比 (%)	対前年 増減額 (億円)	概要	
農業産出額 計		2,655	107.4	182		
耕種	米	153	121.4	27	猛暑を起因とした全国的な供給不足と需要増により、単価が上昇したことから、産出額が大幅に増加した。	
	麦類	23	135.3	6	麦類の生産量が増加し、単価も上昇したことから、産出額が大幅に増加した。	
	雑穀・豆類	3	75.0	▲1	作付面積の減と猛暑の影響で生産量が減少し、産出額が大幅に減少した。	
	いも類	6	85.7	▲1	かんしょの単価が減少したため、産出額も減少した。	
	園芸	野菜	956	107.2	64	異常気象や国際情勢等による農産物価格の上昇により、産出額全体が増加した。
		果実	76	105.6	4	リンゴに甚大な凍霜害が発生し、収穫量が減少したものの、ブドウとウメの単価が上昇し、果実全体の産出額はやや増加した。
		花き	56	101.8	1	花きの作付面積の伸びがわずかな増加だったことから、産出額は横ばいとなった。
		計	1,088	106.8	69	
		工芸農作物	49	71.0	▲20	こんにゃくいも価格の下落等により、算出額は大幅に減少した。
		その他	12	92.3	▲1	
	計	1,335	106.2	78		
畜産	肉用牛	182	99.5	▲1	肉用種子牛の生産量は増加したが、単価が下がったため、算出額はわずかに低下した。	
	乳用牛		256	102.4	6	生乳は単価が上昇したため、算出額はかなりの程度増加した。一方、副産物である子牛の単価が大幅に下がったため、乳用牛全体の産出額は前年からわずかに増加するにとどまった。
		生乳	233	106.4	14	
	豚	478	99.4	▲3	単価はわずかに上昇したが、出荷頭数がやや減少したため、産出額はわずかに減少した。	
	鶏		388	135.2	101	鶏卵及びブロイラーともに産出額が増加したため、鶏全体の産出額は大幅に増加した。
		鶏卵	327	141.6	96	
	ブロイラー	48	109.1	4	生産量はわずかに増加し、単価がかなりの程度上昇したため、産出額はかなりの程度増加した。	
	その他	15	115.4	2		
	計	1,319	108.6	104		
	加工農作物	1	100.0	0		
	(参考) 水産物	5	100.0	0	漁獲高、養殖生産額ともにわずかに減少した。	

(注) 合計と内訳は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

個別農産物順位

順位	品目	産出額 (億円)	構成比 (%)	前年順位
1	豚	478	18.0	1
2	鶏卵	327	12.3	2
3	生乳	233	8.8	3
4	キャベツ	194	7.3	5
5	肉用牛	182	6.9	4

わずか：±2%以内
やや：±3～5%
かなりの程度：±6～10%
かなり大きく：±11～15%
大幅：±16%以上